

答えは6日の朝刊に



綿花の摘み取りが本格化した赤坂農園＝28日



ふわふわ綿花収穫につこり 東松島

東日本大震災の被災農家を支援する「東北コットンプロジェクト」で栽培された綿花の摘み取り作業が、東松島市の赤坂農園で本格化している。今季は約50%の畑から300kgの収穫を見込む。新型コロナウイルスの感染拡大に配慮して今月の収穫祭は中止したが、一部のボランティアが28日、赤坂農園を訪れ作業を手伝った。綿花を

手に取り「ふわふわしている」「温かい」と感触を楽しんだ。

プロジェクトは綿花の栽培と販売を通じて被災農家を支援するため、2011年7月に発足。全国の企業70社が参画し、仙台、名取両市でも栽培している。

摘み取り作業は来年2月まで行われる。赤坂農園代表の赤坂芳則さん(70)は「全国の支援のおかげで10年目も活動できている。被災地が復興している姿を伝えたい」と話した。

東日本大震災  
10年

かほく

ワークシート

問題

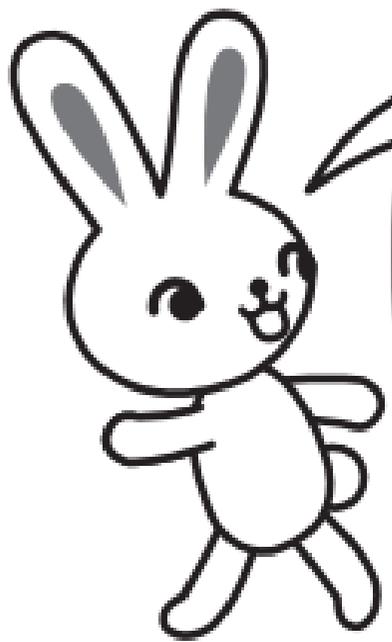
- ① 東松島市の赤坂農園で栽培された綿花は、何kgの収穫を見込んでいますか。  
( )
- ② 東北コットンプロジェクトとは、どのようなプロジェクトですか。  
( )
- ③ 赤坂農園代表の赤坂芳則さんは、どのような思いを話していますか。  
( )
- (小学校中学年以上／総合学習、学級活動など)

出題者から

東日本大震災から間もなく10年。「塩害で農業ができない農家に、塩に強い綿花栽培をしてもらおう」と始まった東北コットンプロジェクトも、10年目を迎えます。10年の時の流れは復興・創生期間の一つの節目と言えますが、課題も多く、復興庁の設置期限は延長されました。ハード面の復興は進みましたが、住宅再建後のコミュニティ形成や心身のケアなどソフト面の支援は今後も必要です。さまざまな活動に継続して取り組みたいです。

(日本新聞協会NIEアドバイザー、仙台市福室市民センター・児童館長 中辻正樹)

(11月29日朝刊)



5日の  
答えだよ

### 【かほくワークシートの模範解答】

①東松島市の赤坂農園で栽培された綿花は、何<sup>キロ</sup>の収穫を見込んでいますか。

(約50<sup>ヘクタール</sup>の畑から300<sup>キロ</sup>の収穫を見込む)

②東北コットンプロジェクトとは、どのようなプロジェクトですか。

(綿花の栽培と販売を通じて被災農家を

支援するため、2011年7月に発足。全国の企業70社が参画し、仙台、名取両市でも栽培している)

③赤坂農園代表の赤坂芳則さんはどのような思いを話していますか。

(全国の支援のおかげで10年目も活動できている。被災地が復興している姿を伝えたい)